

もっと!

つながる通信

第 1 号

令和3年11月1日発行

発行：名寄市社会福祉協議会

名寄市西1条南12丁目

総合福祉センター内

TEL：01654-3-9862/FAX：01654-3-9949

共催：名寄市町内会連合会

名寄市民生委員児童委員連絡協議会

回 覧

新型コロナウイルス感染症の影響によりこれまで同様の活動が行えない中においても、つながりを失うことなく、暮らしやすい地域をつくっていく一助となるよう様々な地域活動の情報を掲載した「つながる通信」を昨年11月から今年3月まで発行したところですが、今なおコロナ禍の影響が続き、様々な場面に影響を及ぼしており、そういった状況においても地域での支え合いを継続していくことができるよう「もっと!つながる通信」として、来年3月まで毎月発行します。

紙面は、昨年12月から町内会や民生委員児童委員のみなさんのご協力のもと行っている「こんにちはレター」「まごころマスク」に関する取り組みと、名寄市外で行われている活動の紹介になっておりますので、今後の地域での活動にお役立ていただければ幸いです。

こんにちはレター・まごころマスク

第1回目の今回は、南地区民生委員児童委員協議会の遠山徳治さんに「こんにちはレター」と「まごころマスク」の配布に同行させていただき、お話を伺いました。

遠山さんが担当される地区では、毎月14区町内会と連携を取り地区内を担当される民生委員3名でブロックごとに一人暮らしの高齢者宅約80世帯へ「こんにちはレター」と「まごころマスク」を配布されています。

訪問の際、呼びかけても反応がなかったり、しばらく不在にしている様子のお宅は水道メーターをチェックしておくそうです。その後もメーターに動きがない時には緊急連絡先等へ連絡を取り、お宅の方に異常はないか等確認を行っており、工夫をしながら地域の見守りを行っています。



訪問されたお宅の方との交流も忘れず、最近の様子などを話しながらお宅を回られています。

「こんにちはレター」と「まごころマスク」を受け取った住民の方々からは、「大変助かっています」「健康に関する情報や体操なども載っていて良い活動をされていると思います」といったお声をいただきました。

更に、こんにちはレターに掲載しているひとこと通信の内容を毎月変え、コロナ情勢に合わせて住民の皆さんに気を付けて欲しいことや元気づけるような一言を添えています。これを読んだ住民の方は「毎月のメッセージが良いです。元気づけてられています」とおっしゃっていました。

～10月のひとこと通信～

晩秋の候、寒さ厳しくなり野山は紅葉になってきましたが皆さんお変わりないことと思います。新型コロナウイルスワクチン接種も逐次進んでおり、感染者数も激減してきており、若干ではありますが先が明るく見えてきましたね。一日も早く元の生活ができるようもう少し我慢しましょう。やむを得ず感染リスクを回避できない場合は、三密(密集、密閉、密接)を避け、マスクの着用、うがいの励行、手洗いの確行を忘れず実行しましょう。明るい未来のために!!!



14区町内会の田中和秋会長にもお話を伺ったところ、「例年行っていた行事もできず集まる機会が減ってしまったが、『こんにちはレター』や『まごころマスク』の訪問活動で定期的に一人暮らしの方の様子を伺うことができているので助かっています。」と話されていました。

今後も民生委員、町内会と連携を取りながら一人暮らしをされる方を見守りを継続し、コロナ禍においても安心して暮らしていけるような地域を目指していきます。

★名寄市外の活動紹介

鷹栖町社会福祉協議会

名寄市のみなさん、こんにちは！

名寄市社協さんは学校と連携した福祉教育が充実されており、市全体で小さい時から身近に福祉を感じられる環境を創り出す地域柄が素晴らしいと思っています♪

名寄市と車で約1時間の距離にある、鷹栖町社会福祉協議会の活動を紹介させていただきます。

★はじめに

我が町では、住民の想いに沿った事業展開を行うため、平成25年3月に第1回全世帯アンケートを実施し、多くの住民が「いつまでもこの町に住み続けたい」と願っていることが分かり、「つどう・つながる・つくりだす」を合言葉に、住民の願いを実現するための事業を展開してきました。

その後、平成31年3月に実施した第2回全世帯アンケートでは、1回目の結果で324個あった困りごとが23個に減少しましたが、昨年2月、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、今まで大事にしてきた「つどうこと・つながること」が、突如断たれる状況となりました。

そのような中でも、“心と心の繋がりを絶やさせない”と生まれたのが、この「贈り物事業」です。



贈り物をお届けした際のひとコマ

★おうちで元気にフレイル予防

～フレフレ！スマイルギフト～

65歳以上の一人暮らし世帯と75歳以上の夫婦世帯(約430世帯)へ、おうち時間を楽しむために昨年6月から月に1度、脳トレドリルなどの贈り物を届けました。

昨年度大変好評だったため今年度も事業継続となり、今年度は加齢による心と身体の働きが弱まるのを緩やかにするため、フレイル予防を意識した贈り物を5月から毎月届けています。

贈り物をお届けするのは、福祉委員や住民のまごころサポーター30名です。配達業務を就労と位置づけ、1件200円の報酬のもと地域づくりと自身の生きがいづくりにも繋がっています。

福祉委員の方からは「ご近所さんでもきっかけがないので、この事業がなければ交流することが出来なかった。見守り活動

もやりやすい！」、受け取られている方からは「毎月届けに来てくれる時にお話できて嬉しい」という感想が寄せられており、深い繋がりが築けることに喜びを感じています。



贈り物の一例

★最後に

コロナ禍により、会いたくても会えない、活動したくても活動できないというもどかしい思いを抱えている方は多いと思います。

しかし、人と人とが繋がることの大切さを、会えないからこそ気付かせてくれました。

会えなくても、心と心は繋がっている♪鷹栖町社協では、笑顔と幸せをみんなで作る、「あったかす」なまちづくりを今後も推進していきます。

「つながる通信」は名寄社協ホームページやSNSでも発信しています。

他にも様々な情報を発信していますので、ぜひご登録ください！！

ホームページ

